

# ひろしま子ども平和の集いに参加して

茅ヶ崎市平和大使

## 1 日目

### ・ 広島平和記念資料館見学

資料館では、遺品や変形したガラス、原子爆弾の情報が書かれたパネルなど多くの展示があり、それらを一ひとつ見学しました。それまで核兵器や戦争は学校の授業でしか学んだことしかなく、見学を通して、核兵器の本当の恐ろしさや戦争の悲惨さを、身をもって経験しました。



### ・ 折鶴の献納

原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さんが折った折り鶴が昨年茅ヶ崎市に寄贈されました。その原爆の子の像に茅ヶ崎市の方が折ってくれて、千羽鶴にした折り鶴を献納しました

折り鶴を通して、平和の願いを祈りました。



## 2 日目

### ・ 平和記念式典参列

8月6日、私たちは平和記念式典に参加しました。式が始まる前に、平和への願いを込めて折り鶴を折りました。式典では、安倍総理大臣の挨拶があり、平和に対する思いを感じました。

また、自分たちと同世代の小学生の平和への誓いを聞き、自分たちも何か「平和」ということに対して力になる事が出来ないかと思いました。



## ・ハワイ州ホノルル市・郡の高校生との交流

ひろしま子ども平和の集いが始まる前に、茅ヶ崎と姉妹都市であるホノルルで観光客に折り鶴を配ったり、折り鶴の折り方を教えたりして平和活動を行っているハワイの高校生と交流を行いました。

私たちは折鶴にメッセージを書いて、その高校生に折り鶴を渡しました。これからも世界に向けて平和のメッセージを届けていきたいと思いました。



## ・ひろしま子ども平和の集い

私たちは、茅ヶ崎市で起こったかもしれないコロネット作戦という幻の上陸作戦と茅ヶ崎市で行っている平和啓発活動について発表を行い、オリヅル賞をいただきました。他校の発表には、交換留学生による発表や歌を通じた発表などがあり、形や内容は様々でしたが、他校の活動や平和についての思いを知る事ができました



## ・被爆体験者からのお話

被爆体験をされた方からお話を伺いました。前日に平和記念資料館や原爆ドームを見学していましたが、実際に体験された話は見学とは違う生々しさがありました。被爆体験者は高齢になっているとの話もあり、改めてこの話を自分の中にとどめておくこと、そしてそれを伝えていくことも必要なんだと感じました



## 3 日目

### ・平和プログラムの参加

8月7日、広島平和文化センターの小溝理事長とお会いし、広島平和文化センターの活動の説明や平和に対する思いを伺いました。また私たちからも平和に関する質問を行いました。

実際に平和啓発に尽力されている方のお話は、すごく貴重で、思いのこもったものであり、さらに平和の大切さへの思いが強くなりました。

